

山行報告書

作成:2010年1月18日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	平治の段(940m) 静岡・山梨県境	目的[方法]	新春富士見山行
期間	2010年1月10日(水)	形態	日帰りピストン
参加人数	6人		

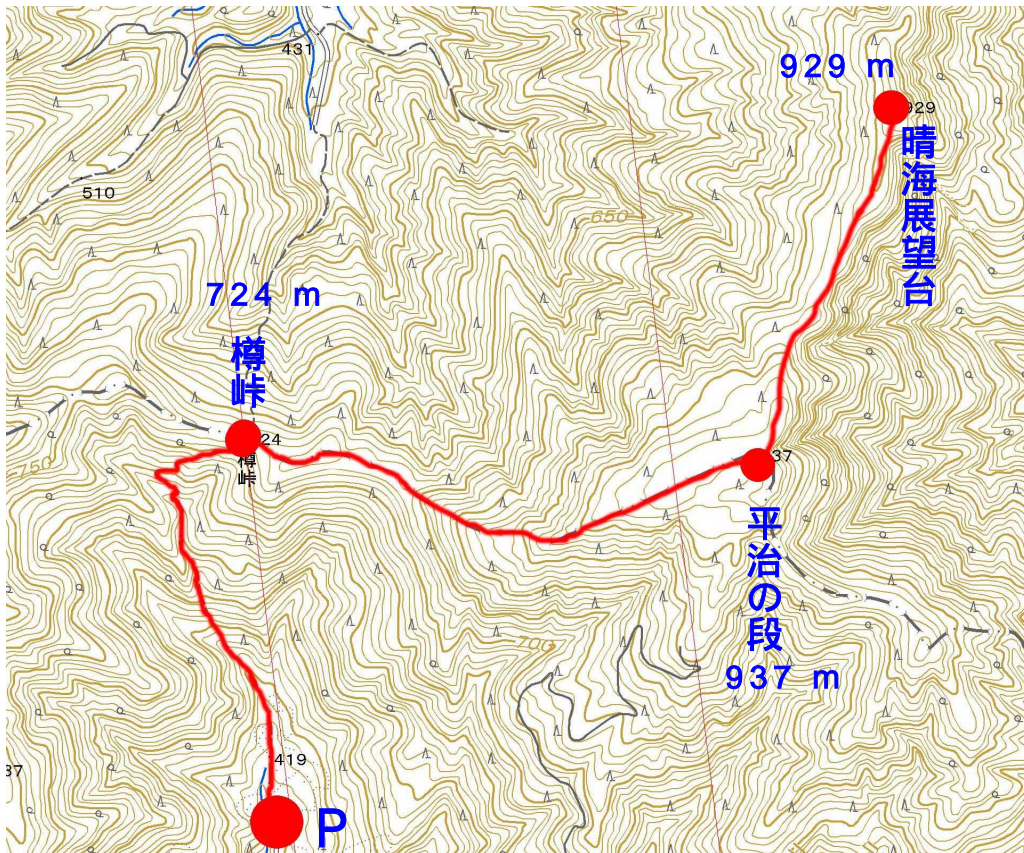
行動記録:

1/10(日) 快晴

<表記例: 車====, 徒歩----, 所要時間--0:40-->

岡崎市民病院P(5:35 発) === 岡崎IC === 牧ノ原 SA(6:30~7:00) === 清水IC(7:25) === (0:30) === 樽林道
 終点P(7:55~8:15) --- (0:35) --- 水場(8:50) --- (0:25) --- 樽峠(9:15~9:25) --- (0:45) --- 平治の
 段(10:10) --- 駿河展望台(10:25) --- 十国展望台 --- (0:35) --- 晴海展望台(11:00~11:15) ---
 (0:30) --- 駿河展望台(11:45~13:00) 昼食 --- (0:45) --- 樽峠(13:45) --- ヒュッテ樽 --- (0:35) ---
 樽林道終点(14:25~14:35) === (0:25) === (15:00~16:10) === 清水IC === (1:20) === 牧ノ原 SA(17:
 30~18:10) === (1:25) === 岡崎IC(19:35) === 岡崎市民病院P(19:40)

概念図:



日誌:

樽林道の駐車場は2台ほどの駐車スペースで、既に1台の車が停まっていた。天気は快晴で、それほど寒くもなかった。準備を整えて出発。途中の水場で水を確保する予定にしていた。茶畑の脇を通り、沢沿いを進む。沢にはあまり手入れのされていないわさび田があり、「取らないで下さい(地主)」の看板が・・・。

つづら折りの登山道を通り、さらに歩きながら沢の水がだんだんと細くなっていき、「もしかしたら水がかれているかも??」と不安になった。水場に到着。心配とはうらはらに、上の方から引かれた水がたつぷりと流れていた。水を確保し、さらに樽峠まで進んだ。樽峠で小休止。お地蔵様に手を合わせた。

樽峠から少し進むと、急な登りが待っていた。歩幅に合わない丸太の階段を、息を切らせながら登り切り、なだらかな道を行くとまもなく「平治の段」に到着した。そこから少し登ったところが「駿河展望台」。「展望台」の名にふさわしく、青い空をバックに白い化粧をした富士山がはっきりと望め、最高の景色だった。

いったん駿河台展望台を後にし、晴海展望台へ。ここからも富士山がよく見えた。再び駿河展望台に戻り、お待ちかねのすき焼き&ビール(注:ノンアルコールです)を富士山を眺めながらいただいた。

下山は登りと同じルートで、途中「ヒュッテ樽」を見学した。玄関には手作りのしめ飾りがついて、中にはいろいろがあり、地元消防団の宴会場にもなっているようだった。念のために用意していた軽アイゼンも使うことなく、無事に下山した。

感想:

少し登っただけで見事な富士山を拝むことができ、またすき焼きもおいしく、とても楽しい山行でした!